

## 全日制 新1年生のみなさんへ

新型コロナウイルスとの闘いが続いています。外出は自粛が要請され、学校は引き続き休校になっています。

新1年生のみなさんは、本校への入学が決まっているのに、まだ一度も本校の制服を着て登校することができない状態が続いています。新たな「高校生活への期待と不安」が「この先の生活や学業への不安」に変わっていることと思います。

そのような中ですが、4月当初に「入学許可通知書」を送付しています。入学式を実施していないとはいえ、みなさんはすでに板橋有徳高校の生徒であることに間違いはありません。

3月中に教科書は購入し、4月当初には各担任から各家庭に電話連絡をしています。家庭学習課題も送付されています。学校に来ることはできませんが、高校生活は始まっています。

板橋有徳高校は、その名の通り「徳」を育てることを大切にしています。規律ある生活を中心として、人として正しい行動ができるようになることがその意味です。

社会全体としてさまざまな行動の抑制が求められる今こそ「人として正しい行動」が必要になります。学校での生活がなくても、今、「人として正しい行動」を日々実践していくこと、それが、板橋有徳高校が目指す「徳」を育て、磨くことにつながります。

学校が始まらないので、授業も始まりません。家庭学習課題だけでは不安を感じる人もいるかもしれません。でも逆に授業がないので先生のペースが速かったり遅かったり、ということではなく、自分に必要なペースで自分の勉強を進めることができます。

場合によっては、中学校や、もしかするとそれよりもっと前までさかのぼって勉強することも、一人で勉強しているから、あるいは、まとまった時間がある今だからできることです。

人生は百年といわれています。百年の長さのほんの数か月間、多少他の人に比べて勉強が遅れたとしても、それは後で取り返すことはできます。だからといって、ここで怠っていると、せっかくできることがあるのにそれをしないで過ごすことになります。焦らず、一方で無益に過ごすことの無いように、将来の自分に役に立つことを考えて実践していきましょう。

残念ながら、臨時休校はしばらく続きます。しかしながら、板橋有徳高校の生徒であるみなさんには、学校に来なくても同じことができるし、授業がないからできることもあります。

今は焦ったり、逆に怠けたりすることなく、日々、自分の行動を律しながら、健康管理、感染防止に十分に留意して生活していきましょう。

併せて「全日制生徒のみなさんへ」というメッセージも読んでください。

令和2年5月8日

東京都立板橋有徳高等学校長

石山 智典